

2010年10月29日

- 1) 正しい記載を一つ選べ。
 - A. 右腎が左腎より高い
 - B. 左精巣静脈は直接下大静脈に流入する
 - C. 左副腎静脈は直接下大静脈に流入する
 - D. 腎茎部は前面から腎静脈、尿管、腎動脈の順である
 - E. 腹部大動脈と上腸間膜動脈を左腎静脈が走っている
- 2) 正しい記載を一つ選べ。
 - A. KUBのUは尿道を示す。
 - B. IVPのPは前立腺を示す
 - C. TURのUは尿道を示す
 - D. ESWLのEは内視鏡を示す
 - E. GFRのRは腎を示す
- 3) 腎茎部での動脈(A), 静脈(V), 尿管(U)の位置関係について腹部から正しい順に並べよ。
- 4) 完全重複尿管に合併する可能性の高いものを2つ選べ。
 - A. 上半腎の逆流と下半腎への尿管開口異常
 - B. 重複尿管両方の異所開口
 - C. 重複尿管両方の逆流
 - D. 下半腎の逆流と上半腎への尿管開口部異常
 - E. 尿失禁
- 5) 65才女性、1ヶ月前より排尿終末時痛、頻尿が有り近医にて膀胱炎と診断され、抗生剤を処方されたが、効果が見られないため、2週間後再受診となった。尿検査で比重1.020、糖(+)、タンパク質(+)、白血球1-2/hPF、赤血球20~30/hPF、扁平上皮細胞2~3/hPFであった。最も行うのにふさわしい検査は以下のどれか。
 - A. 尿中結核菌培養
 - B. 腎生検
 - C. 尿細胞診
 - D. 腎・膀胱超音波検査
 - E. 逆行性尿路造影
- 6) 褐色細胞腫について正しいものを二つ選べ。
 - A. 20%が悪性である
 - B. 低K⁺血症を伴う高血圧症が主症状である
 - C. 原発性アルドステロン症を合併しやすい
 - D. 高血圧の治療には α 遮断薬を用いる
 - E. MIBGシンチを取る
- 7) 副腎皮質腺腫によるCushing症候群について誤っているものを一つ選べ。
 - A. デキサメサゾン抑制試験で血中コルチゾールは抑制されない
 - B. ACTH、コルチゾールは朝低く、夜高い日差変動が有る
 - C. インスリン拮抗作用による耐糖能の低下を来す
 - D. 副腎腺腫摘出後、ホルモン療法を行う

- 8) 原発性アルドステロン症で間違っているものを一つ選べ。
- A. 低 K⁺血症
 - B. 比較的高 Na⁺血症
 - C. 高血圧
 - D. アシドーシス
 - E. 夜間多尿
- 9) 腎細胞癌について正しいものを二つ選べ。
- A. 初診時に転移しているものは約 5%である
 - B. 遠隔転移は骨・肺・脳の順である
 - C. 検診で偶然発見されることが多い
 - D. 血尿がほとんどの例で見られる
 - E. 最近 10 年間、罹患率は増加傾向である
- 10) 腎細胞癌に対する手術療法について正しいものを一つ選べ。
- A. 腎細胞癌の手術では術後の副腎機能の低下を防ぐために患側副腎を温存する
 - B. 腎部分切除後の局所再発は約 30%の症例で観察される
 - C. 根治的腎摘除術では、病変の血行性播種を防ぐために、腎動脈より先に腎静脈を結紮する
 - D. リンパ節郭清は臨床的意義が乏しい
 - E. 腎の温阻血時間が 60 分以内であれば、患側腎に高度の機能障害はもたらされない
- 11) 腎盂尿管腫瘍について、正しいものを二つ選べ。
- A. 症状は血尿が代表的である
 - B. 尿管腫瘍の発生は、尿管を上部・中部・下部に分けた場合、下部尿管での頻度が最も高い
 - C. 腎盂尿管癌に膀胱癌が合併する頻度は約 10%である
 - D. フェナセチンを含む鎮痛剤は、腎盂扁平上皮癌の発生危険因子である
 - E. 膀胱癌と異なり、職業に関する危険因子は無い
- 12) 膀胱癌について、正しいものを一つ選べ。
- A. 尿細胞診の有用性は低い
 - B. 筋層への腫瘍浸潤の診断には MRI が適している
 - C. 表在性腫瘍の基本は抗癌剤膀胱内注入である
 - D. CIS の予後は乳頭表在性腫瘍の予後より良い
 - E. Hautmann 式代用膀胱造設の際には上行結腸を利用する
- 13) 膀胱癌について、正しい組み合わせを一つ選べ。
1. 膀胱上皮癌の治療法としては、BCG を膀胱内に注入する方法が知られている
 2. 無症候性肉眼的血尿は、排尿痛は無く肉眼で確認できない血尿の事である
 3. 膿尿は尿中に白血球が混入したものである
 4. 表在性膀胱癌に対しては膀胱保存的手術が第一選択である
- A. 全て B. 1,3,4 C. 1,2,4 D. 1,2,3 E. 2,3,4
- 14) 前立腺癌について、誤っている記述を一つ選べ。
- A. 臨床癌とは、臨床的に前立腺癌と診断され、組織診で前立腺癌を支持する所見が見られる癌の事である
 - B. オカルト癌とは、転移性悪性腫瘍の発見に伴う原発巣検査で原発巣を見つけることが出来ず、後に別の検査で前立腺癌が原発巣として発見された場合の事である
 - C. 偶発癌とは、非悪性腫瘍を切除した際の生検によって偶発的に発見された癌である。
 - D. ラテント癌は生前に前立腺癌の所見を認めず、死後の剖検などによって前立腺癌が発見された症例である

る。

E. ラテント癌、偶発癌は共に微小癌である。

15) 前立腺癌について、正しい記述を一つ選べ。

- A. PSA は特異的な腫瘍マーカーである
- B. ?
- C. ?
- D. ?

16) 前立腺癌の放射線療法について誤っているものを一つ選べ。

17) AFP 値が上昇しない精巣腫瘍を二つ選びなさい。

- A. セミノーマ
- B. 胎児性癌
- C. 奇形種
- D. 絨毛癌
- E. 卵黄嚢腫瘍

18) 精巣腫瘍について正しいものを二つ選びなさい。

- A. 進行すると造骨性の骨転移を来す
- B. PSA は特異的な検査方法である
- C. 生検は確定診断として有用である
- D. 20~30 代に好発する
- E. 卵黄嚢腫瘍では β -hCG が上昇する
- F. 化学療法に対して感受性が高い

19) カテーテルや採尿用袋を使用しなくても良いものを一つ選びなさい。

- A. 腎瘻
- B. 尿管皮膚瘻
- C. 膀胱瘻
- D. 回腸導管
- E. 新膀胱造設

20) 我が国の透析医療の特徴について正しいものを二つ選べ。

- A. 単位人口当たりの透析患者数が多い
- B. 高齢者が多い
- C. 長期透析患者数の占める割合が低い
- D. 透析腎癌の発生は少ない
- E. 異所性石灰化は少ない

21) 腎移植について誤っているものを一つ選べ。

- A. 受腎者をドナーと言う
- B. ?
- C. ?
- D. ABO 血液型不適合の場合も移植は可能である
- E. 移植前に HLA 抗原適合検査を行う

22) 結石の成因として誤っているものを一つ選びなさい。

- A. 副甲状腺機能亢進症
- B. Cushing 症候群

- C. ビタミンD 過剰
 - D. 尿路感染症
 - E. 原発性アルドステロン症
- 23) 尿路感染症の起炎菌として不適当なものを一つ選びなさい。
- A. 大腸菌
 - B. 腸球菌
 - C. 肺炎桿菌
 - D. 緑膿菌
 - E. 乳酸菌
- 24) 急性腎盂腎炎について正しいものを一つ選びなさい。
- A. 急性単純性腎盂腎炎は高齢の女性に多い
 - B. 起炎菌は肺炎桿菌である
 - C. 小児では消化器症状（嘔吐、腹部膨満感）を起こすことがある
 - D. 水腎症や結石を合併して重症の急性増悪（上部尿路閉塞）の場合、多めの内服抗生剤を投与する
 - E. 末梢白血球の増加、核の左方移動、CRP 陰性となる
- 25) 子宮全摘手術を行った女性が、持続的な尿失禁を訴え受診。適切な検査を選びなさい。
- A. チェーン造影
 - B. 残尿量測定
 - C. 排尿時膀胱尿管造影
 - D. 膀胱内圧測定
 - E. 経静脈的膀胱造影
- 26) IPSS の評価項目に含まれない下部尿路障害を一つ選びなさい。
- A. 残尿感
 - B. 排尿痛
 - C. 腹圧排尿
 - D. 尿線途絶
 - E. 夜間頻尿
- 27) 前立腺肥大症について正しいものを一つ選べ。
- A. PSA は一般的に正常である
 - B. 直腸診で石様硬を来す
 - C. 風邪薬は症状を軽快させる
 - D. 外科的手術法としては恥骨後式前立腺摘除術がある
- 28) 尿失禁について正しいものを一つ選べ。
- A. 咳によって引き起こされるものを溢流性尿失禁と呼ぶ
 - B. 子宮癌根治術の後には腹圧性尿失禁が起こりやすくなる
 - C. メジャートランキライザーの副作用に尿閉がある
 - D. 精神的な負担によって引き起こされる尿失禁を stress incontinence と言う
 - E. 切迫性尿失禁の治療には α_1 拮抗薬を用いる
- 29) 急性尿閉に対して、導尿出来なかった場合の処置として最も適当なものを選べ。
- A. 補液
 - B. 利尿剤投与
 - C. 下腹部圧迫

D. 経腹的膀胱穿刺

E. 経皮的腎瘻造設

30) 腎損傷について正しいものを一つ選べ。

A. 肉眼的血尿の度合と外傷の重傷度は必ずしも一致しない

B. 高血圧を来すことがある

C. 外科的手術には腰部斜切開が望ましい

D. 腹部 CT は診断に有用である

造影

以下、記述問題

31) 尿路結石の外科的治療 (ESWL を含む) の適応について知るところを述べよ

32) 限局性前立腺癌の治療について列挙し、それぞれの特徴を述べよ

33) 膀胱癌における膀胱全摘に伴う尿路変向についてその種類を列挙し、それぞれの特徴を述べよ

34) 前立腺肥大症の絶対的手術適応について、知るところを述べよ

35) 転移性腎細胞癌の治療について、知るところを述べよ

36) 陰嚢内容の有痛性腫脹を来す疾患を列挙し、それぞれの鑑別方法について述べよ

試験時間は腎と合わせて 60 分。ただ、本年度は希望により 20 分さらに延長されている。

過去問と殆ど同じなので、これを完璧にした方がよさげ。ただ、微妙に言い回しが変わっていたりするのでその辺は注意。

再現：藤本